

+.....+
【ケアプロ通信vol.112】
1月度ニュース:ドコケア「電話おまかせサービス」開始
+.....+

いつも大変お世話になっております。
ケアプロ広報担当です。

2022年もよろしくお願いいたします。

ケアプロ通信をお届けするころの1月20日は
お正月の祝い納めの日となる
「二十日正月(はつかしょうがつ)」です。

正月飾りを全て片付け終え、
残っているお餅を食べ切ることなどをして、
お正月を締めくくる日とされています。

年末年始休暇を終え、忙しさも増してくるこの時期でもあり、
1月20日は一年で最も寒い大寒です。

体調を崩しやすい季節になりますので、
どうかお体に気をつけてお過ごしください。

それでは1月度のニュースをお届けいたします。

+.....INDEX.....+

- 【1】代表 川添高志
2022年のご挨拶 Healthy New Year
 - 【2】予防医療事業部
 - 1) 日本健康マスター検定の資格持ってます。
 - 2)【急募】保健師 募集中です！
 - 【3】在宅医療事業部
 - 1) 年始、積雪の中での訪問対応
 - 2) 訪問看護ステーションのクリスマス
 - 【4】交通医療事業部
 - 1) サッカーナース「スポーツ界のナースコールになる」
 - 2) ドコケア「電話おまかせサービス」開始
- +.....+
-

+……………代表 川添 高志からのメッセージ……………+

1)2022年のご挨拶 Healthy New Year

謹賀新年

コロナ以前は、平均7000歩でしたが、
昨年は3000歩となり、健康データも悪化しました

オンライン等が発達することで、人間の機能で衰えるものがあります
本年は、歩数等を社内チームで競い合い、
血液や体重等の健康データの前後比較をしています

毎日「まだ28歩」「今日も12000歩」「帰りに寄り道」
といったメッセージが行き交っており
ポピュレーションアプローチとして効果を発揮しています

本年も宜しくお願いします

川添高志

※写真:社員で登った高尾山から見える富士山



+.....予防医療事業部長 大関 夏子からのメッセージ.....+

1)日本健康マスター検定の資格持っています。

みなさま

2022年がはじまりました。本年も宜しくお願いいたします。

ケアプロ予防医療事業部では、看護師や臨床検査技師の資格を持たないスタッフを中心に、昨年より新たな試みとしてお客様の満足度向上や安心に繋げるため、日本健康マスター検定の取得をはじめました。昨年10月にベーシックの検定を受験し、受験した全員が無事合格することができました。今年3月はエキスパートの検定に挑戦します。

日本健康マスター検定は、健康全般を体系的にカバーする「健康リテラシー/ヘルスリテラシー」をはかる検定で、国の「健康日本21」などの健康政策に準拠しています。

常に健康についての正しい知識をキャッチして伝えていき皆様の健康へのアクションにつながるサービスとなるよう、ケアプロスタッフ一同精進して参ります。

【健康マスターを取得したスタッフの名札】



2)【急募】保健師 募集中です！

中小企業へ産業保健を提供するには、どうしたらよいか。
日本で、在宅治験の市場を整備していくには、どうしたらよいか。
このような予防医療に関連する様々な課題を解決し、
新たな市場をつくっていく仲間を募集しています。

詳細、エントリーは[こちら](#)から

+………在宅医療事業部長 金坂 宇将からのメッセージ………+

1)年始、積雪の中での訪問対応

新年、明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

今年も、ケアプロ訪問看護ステーション東京では
年末年始も変わらず訪問看護を提供してまいりました。
関東圏では、1/6より雪が降り、都内でも10cmの積雪がありました。
普段全く降らない東京では、このくらいの雪でも交通機関が麻痺したり
移動手段が確保できず訪問ができなくなったりと災害レベルです。
ある程度予測はつくものの、今回は思ったよりも急激に積もったため
早急に検討を行い、訪問方法の変更対応などを行いました。
おかげで、キャンセルを出すことなく訪問対応をすることができました。

平時よりBCP作成の際に検討してきた事象ではあるので、
急なことではありましたが、意思決定もスムーズに対応をすることができ
改めてBCPの重要性を感じたイベントでした。



一方で、今回感じた課題は、改めてBCPへ反映していきます。

2)訪問看護ステーションのクリスマス

年末に向けたイベントにクリスマスがありますが、
今年は、ステーションにサンタクロースがやってきました！

寒さ厳しい中での訪問、忙しい業務の中で疲れている所に、
こういうサプライズイベントは心が和みます。
こういった、心のこもった取り組みをそれぞれが考え、実践する事も、
24時間365日の訪問も守る上では大切だと感じた瞬間でした。



+………交通医療事業部長 川添 高志からのメッセージ………+

1) サッカーナース「スポーツ界のナースコールになる」



スポーツ救護専門の看護師プラットフォーム「サッカーナース」は、サービスのミッション・ビジョンを再定義し、リブランディングを行いました。

新ミッションは「スポーツ界のナースコールになる」、新ビジョンは「スポーツでもっと健康に。スポーツをもっと健康に。」です。

サッカーに限らず、スポーツをする・みる・支えるすべての人の安全・安心を護りたいという思いがサービス開始当初からありました。

この思いを実現させるためにも、まずはサッカーに集中して「サッカー救護No.1」を目指し、サッカーを契機に別の競技に広げていく計画を立て、実行してきました。

サービス構想から約2年が経ち、これまでサッカー、テニス、ランバイクなど、看護師が様々な競技で安全・安心をサポートしてきました。その中で、看護の力を必要としてくれるスポーツ団体様との多くの出会いがありました。

2021年12月現在、28名の看護師がサッカーナースに登録してくれており、たくさんの熱い思いを持った仲間ができました。

必要としてくれる人や協力してくれる仲間が増えたことで、サッカーに限定しないもっと大きなミッション・ビジョンを描ける自信がつかしました。

そしてこのタイミングで、本当に目指したい世界は何なのか改めて考え、もっと分かりやすく、サッカーナースが目指す世界を伝えることを目的としてミッション・ビジョンの再定義を行いました。

新しいミッションに込めた思いを実現し、スポーツ業界全体が健康になり、スポーツをする・みる・支える人が健康な世界を目指してまいります。

詳細は[こちら](#)

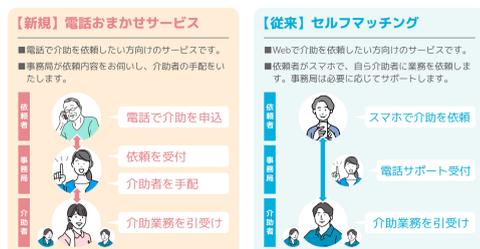
2)ドコケア「電話おまかせサービス」開始



今までの「ドコケア」は、依頼者さん自らスマートフォンを利用して、介助者さんに業務を依頼していました。

「電話おまかせサービス」は、スマホを利用しない方にドコケアを使っていただくために生まれた新サービスです。

依頼者さんからのお電話を、ドコケア事務局で受け、介助業務を手配します。



詳細は[こちら](#)